

みんなで21世紀の未来をひらく

教育のつどい



藤枝特別支援学校卒業生の作品

教育研究全国集会 2016 in 静岡

2016年 8月19日(金) 20日(土) 21日(日)

学ぼう、語ろう、いかそう — 憲法と子どもの権利条約が 生きて輝く教育を

子育てのこと、学校のこと、みんなで話し合いませんか

「教育のつどい」は、毎年、全国から子育てや教育にかかわる人々が集まって開催される、誰でも参加できるつどいです。

- 資料代：1000円
 - 全体会には手話通訳あります。
 - 全体会では、1歳以上のお子さんを保育します。
- お申込みは、8月3日(水)までに事務局へ

8月19日(金) 13:00～15:30

開会全体集会 静岡市清水文化会館マリナート

シンポジウム **憲法と教育を語る**

— 立憲主義、民主主義、平和主義を尊重する社会と教育を

清水雅彦さん / 長尾詩子さん / 菅間正道さん

(日本体育大学教授 憲法学) (ママの会事務局・弁護士) (自由の森学園社会科教員)

コーディネーター 小畑雅子さん (全教書記長)

現地企画 「ユズリン」ミニコンサート・「しぞーか まんさい」

8月19日(金) 16:30～19:20

教育フォーラム

(8つのフォーラム・静岡市内)

8月20日(土) 21日(日)

分科会 (静岡市内)

主催：「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい—教育研究全国集会2016」実行委員会

教育のつどい2016 分科会 (静岡市内)



8月20日(土) 10:00~18:00 8月21日(日) 9:30~16:00

1 国語教育

情緒的・反知性的な言語活動が押し進められています。あらためて国語教育とは何かを問い直し、批判的・理性的なことばの力を育むとりにくみを語り合います

2 外国語教育

いま英語教育は「グローバル人材」養成の道具とされています。すべての子どもたちに、平和な世界を創造する力を保障する外国語教育の実践を交流しましょう



8 書写・書教育

硬筆指導のあり方、毛筆の特質をいかした表現のあり方を、大小さまざまな作品を通して考え、子どもがどのように成長したかを話し合います

9 技術・職業教育

この分科会では、技術・職業教育が持っている魅力と、多様な子どもに対応した授業・教材の工夫など教育実践の課題について議論します

3 社会科教育

立憲主義や民主主義が危機に瀕しています。今こそ、18歳選挙権のもとで求められる教育を全国の実践から学び合しましょう

10 家庭科教育

子どもたちが、ありのままの生活を見つめ、考え、いのちと暮らしを守るためにどうしたらよいかを考え合います。学習を社会と繋げ、主権者として生活できる学びを探っていきたいと思います

4 数学教育

いつの間にか学が意欲を失ってゆく子どもたち。何がそうさせているのか、私たちに求められていることは何か。みんなで、話し合しましょう

11 体育・健康・食教育

子どもの貧困と生活困難を背景とするからだところの育ちの実態をふまえ、すべての子どもの発達を保障する体育の授業、健康教育(学校保健)、給食と食教育のとりにくみについて、実践報告をもとに検討をおこないます



5 理科教育

全国学力テストや受験など競争的環境の強化と学習指導要領改訂の動きの中で、主権者を育てる理科/科学教育の実践の検討を通して、自主編成を考えます

12 生活指導・自治的活動

さまざまな課題を抱えた子どもたちに、教師としてどう向き合うか。自治的活動を通して、子どもたちの前向きな力をどう引き出すか。深めていきましょう

6 美術教育

子どもたちの表現に寄り添い、実践を読みひらき、表現者を育てる美術教育をみんなで考えます。日々の実践を持ち寄って全国の仲間と交流しましょう



13 発達・評価・学力問題

教室の子ども姿を通して、学力あるいは学力の基礎とは何であり、それを育てるために大切にすべき発達の課題や評価について、学び考え合います

7 音楽教育

音楽の授業は、教材を間に子どもと教師が心を通わせ共に育つ場です。一人ひとりの想いや表現を受け止め喜びあふれる授業をめざして学び合しましょう

14 障害児教育

全国からの34本のレポート報告をうけ、「特別支援教育10年の批判的検討、障害のある子どもを権利主体へ」をテーマに障害児教育を深めていきます

15 幼年教育と保育

幼年期教育や、小学校にみられる多様な子どもの姿から、育ちの要求を読み取り、守るべき保育・教育とは何かを考え合しましょう

22 環境・公害問題と教育

福島原発事故と震災遺産、郷土のブナ林の動態、地球温暖化防止などのレポートをもとに、次世代も安心して暮らせる社会のためにできることを考えましょう



16 思春期・青年期の進路と教育

子ども・若者たちが生きづらい社会の現状とつながり学ぶ実践について交流し、考えます。子どもの見方、社会資源との連携についても討論を深めましょう

23 文化活動・図書館

豊かな文化活動・図書館活動の実践・報告を通して討論を深めましょう。子どもたちの生活の充実と健やかな成長を、学校・地域の活動から考えます



17 ジェンダー平等と教育

ジェンダー平等を考えることは、家族・労働・学校のあり方を問い直し、誰もが自分らしい生き方を可能にすることで。共に学び合しましょう

24 教育課程・教科書

教科書検定・採択、「道徳の教科化」が押し進められる中で、中高生の考える平和・民主主義や子どもたちの実態をもとに、教育課程づくりや「教育とは何か」を考えましょう

18 子どもの人権と学校・地域・家庭

現在、政府は教育と教育内容に対する統制を進めようとしています。そうした中、今回、子どもの学習権を保障するとりくみの報告などをもとに議論を深めます

25 登校拒否・不登校の克服

「教育の機会確保法案」の問題、子どもたちの根源的な問いに応えるような学びの実践—この2つを、分科会を貫く課題として、実践報告を通して学び合います

19 平和と国際連帯の教育

戦後70年を契機に、多くの平和教育の実践がおこなわれました。若い世代が戦争体験の継承を積極的に進め、主権者として平和を学んできています

26 国民のための大学づくり ～大学教育と高大接続～

高大接続システム改革会議のめざす高校教育、高大接続、大学教育の一体的「改革」における現状と問題点を考えます

20 学校づくりへの子どもの参加、 父母・教職員・地域の共同



子どもと学校をめぐる悲しい事件が、いじめだけでなく教師の指導も原因になって起きています。子どものいのちを育む学校づくりに向けて知恵と経験を寄せ合います

27 生活科・総合学習

「学びの世界が、広がる、深まる」地域とつながりながら、確かな自然、社会認識を育てる生活科・総合学習のすてきな実践です。共に学び合しましょう

21 教育条件確立の運動

学校統廃合、臨時教職員、少人数学級や教職員定数、教職員の長時間労働、安心・安全・快適な教育環境、就学援助・私学助成など、切実な条件整備の諸課題をともに考えましょう

28 今日の教育改革—その焦点と課題

教育の分野でも歴史の本流と逆流が激しくぶつかっています。安倍「教育再生」に抗してとりくまれている各地の運動や実践をもとに、展望を語り合しましょう

特設分科会

- ①子ども・青年「青空教室」(申込制)
- ②フィールドワーク—浜岡原発とビキニ事件から学ぶ(21日だけの開催・申込制)

申込・お問い合わせは
現地実行委員会へ
TEL:054-254-6900

教育フォーラム(案)

8月19日(金) 16:30~19:20



No	フォーラム名	何を話し合いたいか
1	誰のための道德教育なの?	<ul style="list-style-type: none"> ● そもそも「道德」ってなにかについて考えよう ● 道德の教科化でどんな子どもを育てようとしているのだろうか? ● 道德の教科化により教室で起きていることを出し合おう ● 子どもの権利条約の視点で道德について考え合おう ● 私たちが求めている道德について語り合おう
2	語ろう 学校・社会・未来 -18歳選挙権時代を迎えて	<ul style="list-style-type: none"> ● 18歳選挙を、主権者意識を高め、主権者としての行動を学びきっかけとするために何ができるかを、みんなで話し合おう * 小中高の発達段階に応じた政治的教養を身につけるために必要なことは? * 学校・家庭・地域で、政治について自由に語り合うために * 「政治的中立性」や政治活動の「届出制」ってどういうこと?
3	高等学校における「特別支援」教育のあり方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校に在籍する、発達障害などによる特別なニーズをもつ生徒たちの実態や実践について交流し、必要な教育条件について深め合おう ● 文科省のすすめる「特別支援」教育について分析・検討し、高校における「通級による指導」などのあり方について考え合おう
4	「こんな場所があるといいね」 -子どもの居場所って	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもたちが、自分を発揮しながらともに成長・発達できる集団づくりや居場所づくりを描き出そう ● 保護者や地域の視点からもアプローチしながら、学校外での実践も交流してみよう ● 子どもたちを支援するうえでの課題や、子育ての悩みなどを交流することで「子どもの居場所づくり」のこれからのを考えてみよう
5	子ども・若者の貧困について語ろう	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児期から若者の貧困について実態を交流し、解決に向けて考えよう * 幼児期からの貧困(実態、連鎖)について考えよう * 学生の貧困(奨学金、ブラックバイト、就職活動の実態)について考えよう * 若者の貧困(雇用、労働問題)について考えよう
6	豊かな学びをどうはぐくむか -学習指導要領について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 次期学習指導要領のねらいや問題点を明らかにしよう ● アクティブラーニングって何だろう。現場での先行実施の実態から考えよう ● 子どもの実態からスタートし、教職員の自主性と専門性にもとづく教育課程について考えよう ● 本来の学びって何だろう。本来の学力論から学力テストについて考えよう
7	3・11から5年半 -被災地の今とわたしたちの課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災地の子どものくらしの今とこれからの語り合おう ● 原発ゼロをめざすとくみと呼応した動きを考え合おう ● 大震災から命とくらしを守るために何ができるか考え合おう
8	現地青年企画 -学び 考え 語り合い 私たちと一緒に平和をつくりませんか	<ul style="list-style-type: none"> ● 福島の高校生が原発事故と向き合った記録「種まきうさぎ～福島に向き合う青春～」(静岡の高校生・青年も映画に登場)の上映と青年によるトークセッションで感想を深め合おう ● 「平和をつくるとは何か」「学び、発信し、伝える側になること」について語り合おう ● 「何かしたいと思っているけど、踏みだせない」そんなあなたと一緒に、日常で何ができるのか考え合おう

すべてのフォーラムで、「憲法と子どもの権利条約の視点で子どもと教育を語ろう」という視点をもって話し合いをすすめます。